

東京の日本語教育 を考えるつどい 2024

2024.5.19(日)
PM1:00~4:30

東京しごとセンター
地下2階講堂
千代田区飯田橋3-10-3
資料代:1000円
(学生700円)
申し込み不要

コロナ後の外国につながる 子どもの激増に直面して 学びの場の確保を考える

昨年からコロナ後を迎え、多くの自治体や学校・民間団体等で外国につながる児童生徒が増加しています。複数の自治体では小学校日本語学級の設置校も増加しています。また、2024年度の都立高校在京外国人枠の入試倍率は2倍近くに激増しました(2023年度は1.2倍台)

このようなことから今年の「つどい」では、外国につながる子どもの激増に直面して、各学校やNPOより現場の実情を話していただきます。

プログラム

13:00-13:25 主催者あいさつ 都議会議員ご挨拶 1年間の取り組み

13:25-13:45 報告1:小学校日本語学級の現場から

濱村久美さん(元江戸川区立清新ふたば小学校日本語学級教員)

青山弘子さん(江戸川区立小岩小学校日本語学級教員)

13:45-14:05 報告2:中学校日本語学級の現場から

田中阿貴さん(港区立六本木中学校日本語学級教員)

高橋仁子さん(北区立赤羽岩淵中学校日本語学級教員)

14:05-14:15 質疑(報告1・2)

14:15-14:25 ----- 休憩 -----

14:25-14:45 報告3:NPOの現場から

栢木典子さん(認定NPO法人多文化共生センター東京代表)

14:45-15:05 報告4:都立高校の現場から

小川郁子さん(元都立高校講師)

15:05-15:15 質疑(報告3・4)

15:15-16:10 全体討論

16:10-16:30 閉会あいさつ・アンケート回収

会場

東京しごとセンター 地下2階講堂

千代田区飯田橋 3-10-3



アクセス

飯田橋から JR中央・総武線 東口徒歩7分
東京メトロ東西線 A5出口 徒歩3分
都営地下鉄大江戸線・東京メトロ有楽町線・南北線 A2出口 徒歩7分

水道橋から JR中央・総武線 西口 徒歩5分

九段下から 東京メトロ東西線 7番出口 徒歩8分
東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄新宿線 3番出口 徒歩10分

呼びかけ人 (敬称略・順不同)

関口明子(公益社団法人国際日本語普及協会 AJALT)

新居みどり(ピナット子ども学習支援教室)

小池由樹(CCS/世界の子どもと手をつなぐ学生の会)

野山広(国立国語研究所)

李原翔(かながわあーすぷらざ外国人教育相談)

栢木典子(認定NPO法人 多文化共生センター東京)

小林普子(NPO法人 みんなのおうち)

中山真理子(NPO 多文化子ども自立支援センター)

主催

東京の日本語教育を考える会
代表・中山真理子
(090-8103-7497)